

# 幼児の教育 第一〇五卷 (平成十八年) 総目録

## ◇第一号

巻頭言「子どもの存在意義」の確認のため  
 本田 和子

特集へいぬ・戌

子どもとペット 横山 章光

日本古典文学におけるいぬ―近世俳

諧の戌・犬を中心に 東 聖子

ボチの散歩道 飯利美知子

子どもの本に登場した犬―信じると

いうこと― 大澤 啓子

文化の起源としての共感性 刑部 育子

私を通った幼稚園・保育園(8) 佐伯 一弥

流されずに生きる 津守 眞

たけのこ幼稚園とラジオのおっちゃん(10)

庄籠 道子

かめきち探検隊 佐藤 寛子

## ◇第二号

巻頭言「総合施設」創設に思う

神長美津子

幼児教育の独自性はどこにあるのか(6)

矢野 智司

子どもたちの今を考える 田中三保子

親が歌えば、子どもは笛吹く

小林 頼子

秘められた物語 小林 頼子

幼児教育と交流活動 倉持 清美

田口恒夫先生 追悼 田口先生 あり

がとうございました 増井美代子

たけのこ幼稚園とラジオのおっちゃん(11)

庄籠 道子

私を通った幼稚園・保育園(9) 入江 礼子

## ◇第三号

巻頭言「子どもの世界を楽しむ」

岸井 慶子

反抗期の親子

高濱 裕子

保育「方法」考(二)

戸田 雅美

カリフォルニア滞在記(一)

岩立 京子

私を通った幼稚園・保育園(10)

豊田 一秀

特集へたね

植物の育成になぞらえた育児論

藤田 博子

青年海外協力隊で育った種

佐竹 直子

乳児の『たね』は生活の中に

濱口 敦子

永遠の情景

中嶋 正敏

高らかな精神を育てる教育 津守 眞  
たけのこ幼稚園とラジオのおっちゃん(12)

庄籠 道子

◇第四号

巻頭言 保育雑感 幼児の社会性とは

何か

鯨岡 峻

特集へ入園

幼稚園入園の頃―穏やかな母子分離

と子どもの時間を保障したい―

向山 陽子

子どもたちの夢を紡いで―幼児期の

学びのもつしなやかさとたくまし

さに乾杯!― 佐藤 暁子

「つながる」ことを大切にして

高梨 智子

新しい出会いのとき

吉岡 晶子

ある日

長期化する人生の各ステージの位置づけ

本田 和子

保育の変革を目指して(1)

入江 礼子

大いなる足跡

高橋 麗子

私を通った幼稚園・保育園(11) 富士原紀絵

◇第五号

巻頭言 診断名がつかないと子どもも理

解はできないか?

山崖 俊子

端午に寄せて

林 直輝

親子関係をGewaltという視点から考える

小玉 亮子

児童学からの出発(2) 子どもの魂との

対話

安島 智子

前進のイメージ

津守 眞

私を通った幼稚園・保育園(12) 小林 美実

カリフォルニア滞在記(二) 岩立 京子

幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(1)

もういつこ 村石理恵子

◇第六号

巻頭言 もしも 雨が降らなかつたら

吉村真理子

特集へ雨の日の保育

雨も悪くない

中野 圭祐

雨の中に昨日が見える 明日が見える

菊地 知子

雨の日こそ園庭へ

當銀 玲子

しゅんちゃんのお雨の日

川崎 徳子

子どもたちの学び

小林 頼子

児童学からの出発(2) 現代おもしろ

子どもの世界の文法 その一

森下みさ子

保育の変革を目指して(2)

入江 礼子

幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(2)

◇第七号

巻頭言 子どもの意見に耳を傾ける世

の中を創ろう

安部富士男

天国からの種

津守 眞

父の叱り方

土屋 賢二

子どもの脳は今?(1)―ゲーム脳について

てー 坂元 章

「子どもの見る眼」から「子どもを見る眼」へ  
恒川 直樹

ゆつくり星を見ませんか？ 田中 千尋  
児童学からの出発(3) 現代おもちゃと

子どもの世界の文法 その二

森下みさ子

カリフォルニア滞在記(三)

岩立 京子

新たな出発の年を振り返って

松永 聖子

### ◇第八号

巻頭言 保育者であること その生と

死を生きる

榎沢 良彦

特集へ緑蔭図書紹介

哀しいうたびと―西條八十―

登坂 秀樹

身体を介して世界とかかわる子ども

の姿を描く

砂上 史子

ヴァージニア・リー・バートン

『ちいさいうち』の作者の素顔

美谷島いく子

物語の内と外 幼稚園の春 青柳 宏  
保育巡回相談を担い始めて 田代 和美

子どもの脳は今？(2)―ゲーム脳について―  
坂元 章

保育の変革を目指して(3) 入江 礼子

子どもが「遊ぶ」経験を問う

横井 紘子

一人ひとりの楽しみ方

高橋 陽子

### ◇第九号

巻頭言「子どもの最善の利益」について

て思う

阿部 和子

ある日

特集へ遠足

永倉みゆき

『遠足』百景

山路 純子

宿泊保育の取り組みから

広い空の下で

目羅 藍

十一月二日 千葉「加曾利貝塚博物館」

鈴木 眞廣

女性の心と体に忍び寄る危険(1)

―思春期から青年期へ― 大森 美香

流れるイメージと、流れをつくるテーマ

津守 眞

私が通った幼稚園・保育園(13) 伊集院郁夫  
幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(3)

「恩師」との出会い

本間万里子

### ◇第十号

巻頭言 からだの主人公になる

高橋 和子

特集へ運動会

“うんどうかい”から“運動会”へ

甲斐久美子

運動会と保育学的想像力

小学校と運動会

太田 光洋

日常の中の運動会

子どもたちの装い

井ノ山正文

女性の心と体に忍び寄る危険(2)

―思春期から青年期へ―

大森 美香

私が通った幼稚園・保育園(14) 新聞よしみ

保育の変革を目指して(4) 入江 礼子

◇第十一号

巻頭言 いのちを繋ぐ 土屋 とく  
特集へ日本の幼稚園教育百三十年周年を  
迎えて

手引書『幼稚園』の原書とその入手  
経路について 大戸美也子

日本における幼稚園教育の確立―保  
育会の果たした役割― 湯川嘉津美

引き継ぐ覚悟 松井 とし  
幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(4)  
働く意欲が持てない？(1)―ニート、フ  
リーター― 耳塚 寛明

差異を差別にではなく学びへと転換する  
津守 眞

木育フォーラムを振り返る 高橋真由美

「つながり」と「育つこと」  
吉川はる奈

保育の中のつながりを求めて  
伊集院理子

◇第十二号

巻頭言 子どもの表現への大人のかか  
わり方 加藤富美子  
特集へ保護者の保育参加

「お誕生日保育」で深まる絆 藤井 修  
みんなでみんなを育てようの精神で

「お父さん・お母さん先生」の活動を  
通して 寒河江よう子

幼稚園百三十年記念企画  
アーカイブズ『幼児の教育』(5)

保育の変革を目指して(5) 入江 礼子  
小学校の現場で感じたこと―副担任と  
してのささやかな実践― 斎藤 美和

私が通った幼稚園・保育園(15) 坂本 起一  
担任とフリーの立場をこえて

働く意欲が持てない？(2)―ニート、フ  
リーター― 杉浦真紀子

耳塚 寛明

幼児の教育 第一〇五卷(平成十八年)  
総目録

幼 児 の 教 育

第一〇五卷 第十二号

(二〇〇六年十二月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十八年十二月一日

編集兼発行人 浜 口 順 子

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込 六丁目一四一九

〒030-3515 三九五―六六一三(営業)

〒030-3515 三九五―五六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレー

ベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。